学校番号	1201

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の地理総合（帝国書院）、「新詳高等地図」　（帝国書院）						
副教材等	地理総合ノート（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の生活・文化の多様性を知る。
・地球的課題について地理的観点から考える。
・自然災害と防災について考える。
・生活圏の地理的課題について考える。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・各種の地図や統計を読みこなし、地理的見方・考え方や技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・現代世界の成り立ちと諸課題を、世界的視野から地域レベルまで捉える能力をつける。
・身近な地域の防災に関する知識と意識を持ち、自ら進んで行動できるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
・世界諸地域の生活や文化について、興味関心をもち自ら学ぶ姿勢をもつ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし,地域性を踏まえて多面的･多角的に考察するとともに,国際社会の変化を踏まえて公正に判断し,考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし,地域性を踏まえて多面的･多角的に考察するとともに,国際社会の変化を踏まえて公正に判断し,考察の過程や判断した結果を適切に表現する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図・国家・グローバル化	地球儀と地図 地理情報システム 現代世界の国家と領域 地図から見る日本の位置と領域 グローバル化	a: 地球儀と地図、地理情報システム、現代世界の国家と領域、日本の位置と領域、グローバル化について、基本的な知識を身につけている。地図や写真を読み取る活動、年表や地図に表現するなど基本的技能を身につけている。 b: 地球儀と地図、地理情報システム、現代世界の国家と領域、グローバル化について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 地球儀と地図、地理情報システム、現代世界の国家と領域、グローバル化について関心を高め、意欲的に追究している。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題
2学期	地形・気候・産業	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の産業と人々の生活	a: 世界の地形・気候・産業について、基本的な知識を身につけている。地図や写真を読み取る活動、年表や地図に表現するなど基本的技能を身につけている。 b: 世界の地形・気候・産業について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界の地形・気候・産業について関心を高め、意欲的に追究している。	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・発問評価 ・提出課題

3学期	宗教・民族・言語	世界の宗教･民族･言語と人々の生活	a: 世界の宗教･民族･言語について、基本的な知識を身につけている。地図や写真を読み取る活動、年表や地図に表現するなど基本的技能を身につけている。 b: 世界の宗教･民族･言語について, 地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界の宗教･民族･言語について関心を高め、意欲的に追究している。	･発問評価 ･提出課題 ･定期考査	･発問評価 ･提出課題 ･定期考査	･発問評価 ･提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度